

小田急沿線 自然ふれあい歩道

小田急沿線自然ふれあい歩道とは、
小田急沿線に点在する身近な自然や文化財などを紹介する
環境活動の一つです。コースは全70コース。
各コースの最寄り駅でチラシを配布しています。

栗平駅～五月台駅コース

尾根沿いの緑地や農耕地が広がる
昔ながらの里山の景観が楽しめるコースです。

コース内の主なみどころ



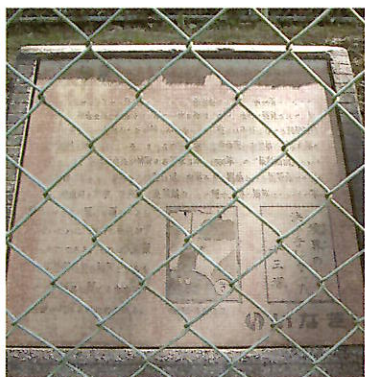
【① 県境の尾根道】

住宅地に挟まれた尾根伝いに
里山を代表するコナラ林が東西
に延びており、快適な散策が楽し
めます。エノキ、ミズキ、クヌギなど
が混生するほか、武蔵野地域に
特有なヤブザクラも自生しており、
多くの植物を観察することができます。



【② 五力田 見晴らし公園】

尾根地形を生かし展望施設や
広場、休憩施設などを巧みに配し
た公園で、見晴台からは遠く町田や
藤沢を見渡せます。園内には、さま
ざまな樹木が立体的に配植され、
既存樹林と一体となり、緑のポリウ
ム感がひととき目立つ公園です。



【③ 十三塚】

十三塚は、中世における供養塔・
経塚や十三仏に起因する民間
信仰の遺跡です。東京都に現存
する唯一のもので、江戸時代に
平尾村と片平・古沢村との境界を
巡る争いが起きた際に、この十三
塚を境界と定める幕府の裁定が
あったと記録されています。



【④ 九郎明神社】

小さな赤い鳥居とこぢんまりとし
た杜の神社です。この地域には
鎌倉古道が通り、源義経一行が
通行途中、当地に一泊したお礼
に一太刀を贈りました。村人が
それを神社に奉納したことから、
九郎明神社と呼ばれたと思われ
ます。



【⑤ 崖線の 斜面樹林の植物】

北向きの崖線下の林縁部は、乾燥
しすぎでない土壌が広がり、キバ
ナアキギリ、シロヨメナなど珍し
い野草が生育しています。キバ
ナアキギリは、シソ科の多年草で茎は
四角形となり、秋に黄色の唇形
花が段々に美しく咲きます。

散 歩 め も

歩いた日 月 日 () 時 分 ~ 時 分

感想

スマートフォンをお持ちなら…

小田急沿線自然ふれあい歩道アプリを無料配信中!

スマートフォンのGPS機能を使って、現在位置の確認も可能。
お散歩のお供に、便利なアプリをご活用ください。



列車運行状況および
各駅時刻表はコチラから

小田急電鉄

検索

www.odakyu.jp



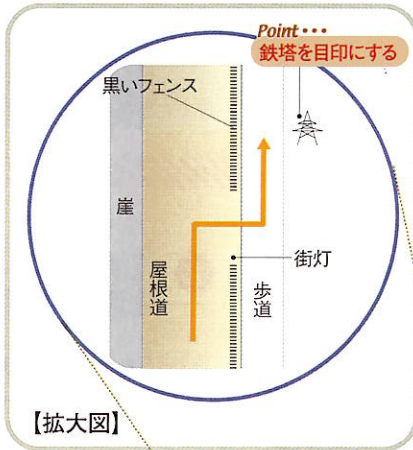
小田急沿線 自然ふれあい歩道 コースマップ



ルート 合計約3.5km

メイン
ルート

栗平駅 780m 県境の尾根道 200m 五カ田見晴らし公園
700m 十三塚 1000m 九郎明神社 450m 崖線の斜面樹林
400m 五月台駅



2014年7月25日現在 ※本マップに記載の情報は、道路状況などにより変更が生じている場合があります。

小田急電鉄株式会社 CSR・広報部 ☎03-3349-2517 www.odakyu.jp/walk/

残したいみどり
伝えたいあお